

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 10/27 第21号 文責 林

学校教育目標 「自らの未来を切り拓く、心豊かな生徒を育成する」

第3回 トーキン双ヶ丘

10月26日（木）に第3回トーキン双ヶ丘を実施しました。今回のテーマは「体育大会・文化祭を通して学んだこと」です。7名の生徒が自分の思いを発表してくれました。



1年 男子

僕たちのクラスは、優秀賞をかざすことができた。それは、やっぱり体育大会に引き続きクラスの団結力や気持ちを一つにできたからだと思う。これも僕ら2組は、朝練習や昼休みに遊びたい中、必死に合唱練習をしてきた結果だと思った。



1年 女子

……とにかくバラバラでした。それから2組のみんなで過ごしていくうちに団結力が生まれてきました。ハの字縄跳び大会で最下位だったハの字も体育大会では優勝することができたんだと思います。



1年生 男子

「今、全校生徒の前で（トーンチャイムを）演奏してる」と思うと足が震えてきました。そして「間違ったらあかん」と意識しはじめると硬くなってしまってミスをしてしまいました。この曲が、とても長い曲、難しい曲のように思いました。なんとか頑張って最後まで演奏しました。



2年生 女子

文化祭では、3年生と最後の演奏でした。泣くのを必死にがまんしました。終わってから、涙がたくさん出てとても悲しくなりました。今でも泣けます。吹奏楽部3年生、楽しい2年間をありがとうございました。



2年生 女子

そんなある日、お母さんに言われた。「結果がすべてじゃない。あなたが後悔しないように頑張りなさい。お母さんはあなたができるってことを誰よりも一番知っているから」文化祭当日は自分なりに精一杯頑張った。



3年生 男子

最初に言った楽しむことの重要さというにはこういうことです。受験が近づいてクラスの雰囲気が重くなったときは、少しでもみんなの気持ちを和ませられるよう努めていきたいと思いました。



3年生 女子

「本番まで頑張って練習して最後まであきらめないでいよう」とだんだんポジティブに考えるようになりました。今までよりさらにお互いの直した方がいいと思うところを注意しあえるようになった。